

奮闘記36

9月



棚田全風景(36a)



旬の味覚「クリ」が枝にたわわに実りイガが…はじけた。豊穰の秋本番。棚田の資源の魅力を楽しく、参加しながら保全し耕作、一般者体験もする。まもなく発足して丸三年を迎える「石の上にも三年、滑り落ちないように」頑張ろう。鳥獣VS草刈りVS体力のバトルが展開し…つづく。



大型耕運機で効率アップ
習うより慣れです。安全運転で…



草刈りは棚田保全の最前線
エンジン音も快調



除草に汗を流す。サツマイモ、枝豆、ヤーコン、綿、ゴボウ



ブルーベリーも実をつけた。
将来はブルーベリー狩りも

農地等活用ボランティア情報交換会（近畿農政局主催）京丹波町



三ノ宮地域、遊休農地活用。そば栽培(37.3a)。質志鍾乳洞の前、農業体験を主とし種蒔き・草引き・収穫・選別等



「京丹波ほたるの里」を五年前に法人。地産地消で都市農村一体を目標に大展開。農業の牽引役を担う。



ほたるの里 "まさこ" は仮装にてお出迎え。稲穂が垂れる里によく似合う。里の魅力作りの、代表理事。



参加60名。地域を大切に、村を守る。地域農業を元気にしよう。成功事例。wil. wil等（目からうろこの交換会）

- 平成24年9月28日(金) 10:00~16:00 京丹波町中央公民館と圃場
- 参加者約60名(行政関係者多し)
- 豊能町参加者 農林商工課(事務局)2人と向井、上山。(当日、奮闘記より抜粋アレンジした資料配布)。
- 午前 現地見学会
 - ①三ノ宮集落の圃場…地元農家「農場づくり協議会」を作り、行政支援を受け、ボランティアと一緒に荒廃地の再生に取り組み、今年ソバの栽培に至った。
 - ②京丹波ほたるの里…地元農家組合法人を作り、都市市民(消費者)と一体となって荒廃地の復興、村興しに活発に取り組んでいる。
- 午後 意見交換会
 - ①NPO法人3法人
 - ・法人は企業活動の延長の上でNPO法人を立ち上げ耕作放棄地の整備等の活動(滋賀県)。
 - ・法人はCSRを活用して農村漁村の再生に取り組んでいる(京都府)。
 - ・法人はスーパーのOB会が立ち上げ遊休地を開墾、保全、地域の活性化に取り組んでいる(大阪府)。
 - ②京都生協…企業活動の中、或いはその延長で耕作放棄地を活用した取り組みをしている。
 - ③伊藤忠・クボタ…CSRの一環として耕作放棄地を活用した取り組みをしている。 (報告:向井)